

平成26年6月6日（木）

「いじめ根絶アピール文」

現在、「いじめ」が大きな問題になっています。ニュースでは、いじめによる自殺のことを時々耳にします。それを聞く度に悲しい気持ちになります。

文部科学省によると、「いじめ」とは、【ある人が一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの】ということだそうです。2～3人のグループによるものが最も多く、近年ではインターネットやSNSを使った「いじめ」が増えています。

学校ではどうでしょうか？私達の学校では、ひどい「いじめ」はないように思われます。しかし、悪口や陰口を言っている人はきっと沢山いるでしょう。前までは一緒にいた人たちが、今では一言も話さなくなったという人たちが、私の周りにもいます。人が集まると必ずそこには、性格の不一致が生まれます。自分と合わない人がいると、むかついて、つい他の人に、その人の悪口を言ってしまいます。どうしても、相手の悪いところばかり気になってしまって、嫌いになって、相手を避けたりすることもあります。それが原因で、どんどん「いじめ」が広がっていくこともあります。そうならないためには、相手の考えを尊重することが大切です。自分と違うことを避けるのではなく、受け入れ、「こんな人もいるんだな」と思うようにしましょう。

また、人の目を気にして嫌われたくなくて、自分の意見を言えず、我慢している人もいると思います。自分が人と違うことを言うと、仲間外れにされるのではないかと思う人もいるかもしれません。しかし、そんなことで崩れてしまう友情なら必要ないと思います。

もし、誰かに嫌われて悪口を言われたり、仲間外れにされたりしても、広い世界のたった何人かに嫌われたというだけのことです。気にするほどのことではありません。

私は、悪質化する「いじめ」をなくすには、何よりも強い心を持つことが大切だと思います。絶対に「いじめ」を許さないという心と、「いじめ」なんか負けないという心です。学校が楽しいという人のほとんどは、その理由に「友達と会えるから」と答えます。楽しくないという人は、大抵人間関係で困っていたり、悩んでいたります。私は、東高の生徒みんなが安心して楽しく過ごせる学校になってほしいと思っています。自分とは、違った考えを持った人たちとも、仲良く楽しく過ごして、「いじめ」とは無縁の学校生活を送りましょう。

平成26年6月9日 月曜日

生徒会長 嶋浦 七瀬